

# 令和4年度県立八重山高等学校学校評価（自己評価・学校関係者評価）

1 教育 目標	(1)平和を希求し、民主的な主権者としての自治能力を育成する。	2 努力 目標	(1)進路指導の充実：志ある自己実現(主体的な学びの確立)
	(2)自他の生命と人権を尊重し、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を育成する。		(2)生徒指導の充実：自律できる生徒
	(3)幅広い知識と教養を身につけ、国際社会・情報社会で活躍する能力を育成する。		(3)魅力ある教育活動：「やいまを識り、やいまを守り、やいまを継ぐ」教育活動
	(4)個人の価値を尊重し、自主及び自立の精神を養い、勤労を重んずる態度を育成する。		(4)教職員の資質・能力の向上：学び続ける教職員、高大接続改革への対応等
	(5)主体的に社会の形成に参画し、その発展と振興に寄与する態度を育成する。		(5)教育環境の整備と学校事務の適切な管理運営：学習環境の充実と円滑な事務処理
	(6)郷土の自然と歴史を愛し、伝統と文化を尊重し、その継承と発展に寄与する態度を育成する。		(6)開かれた学校づくり：保護者・地域・関係機関との連携強化

めざす学校像：師弟同行	めざす生徒像：学徳、進取、雄飛	めざす教師像
1 生徒が安心して明るく生き生きと活動する学校	1 時代の変化に対応できる確かな学力と豊かな人間性を備えた知・徳・体の調和の取れた生徒[学徳]	1 自己研鑽に努め、生徒の個性や能力を伸ばし、生徒の心に灯をともし教職員
2 教職員が教育活動にやり甲斐を感じる学校	2 何事も自主的・主体的に取り組むとともに、協働精神に富み創造性豊かな生徒[進取]	2 保護者や地域社会との連携・協働、教職員間の連携・協働を意識的に取り組む教職員
3 保護者や地域社会の期待に応える学校	3 郷土を愛し、社会発展に貢献するよう自己実現を目指す生徒[雄飛]	3 本校の課題や諸問題に対し、組織的・継続的な取り組みをする教職員

本校の社会的役割

「やいまを識り、やいまを守り、やいまを継ぐ」教育活動を実践し、社会に貢献できる生徒の育成

主体的な生涯学習者として志のある自己実現を果たす生徒の育成

( )内は学校評議員人数

No	努力目標(Plan)	状況(Do)※ ( )内は昨年度	R4 目標値	◎成果・▲課題(Check)	進捗状況	改善(Action)	関係者評価
1 進 路 指 導 の 充 実	① 協働体制で組織的・継続的な進路指導の充実に努め、生徒一人ひとりの希望進路実現を図る。	3/1現在 進路決定率 81.0% (94.1%)  在籍率99.1%(99.1%) 卒業率99.6%(99.1%)	90%以上   100%	◎3月1日現在の進学170名、就職17名 ▲生徒一人ひとりに応じた進路指導の更なる充実	B	◆キャリア教育や進路指導方針の更なる共有及び連携 ◆早期の進路決定への取組充実 ◆課題を抱えている生徒の早期支援 ◆少数希望者科目の課外講座実施検討	B(5)
	② 体験学習やICTを活用した創意工夫のある指導により、主体的な学習習慣の定着を図る。	スタディサブリの活用推進  家庭学習1日平均1時間以上の生徒25%	利用促進  50%	◎学年会にリクルートの方を招いてスタディサブリを有効活用するための手立てを検討 ▲教科担任の活用率の向上 ▲学習を振り返り次の学習に向かうことができると答えた生徒が50%だが、行動が伴わない生徒が約25% ▲家庭学習習慣の定着及び基本的な生活習慣の確立の取組強化	C	◆個々の学習状況に応じたスタディサブリの活用方法の研究 ◆家庭学習習慣定着のための各教科連携した取組 ◆教職員のICT活用能力の向上	C(5)
	③ 高大接続改革に関する情報収集とその周知に努め、特に「高校生のための学びの基礎診断」と「大学入学共通テスト」に関する取組を強化する。	進路情報誌「雄飛」65号  大学入学共通テスト受験者70名(89名)	100号  80名	◎指定校情報の開示及び奨学金募集の周知を適宜実施 ◎大学進学希望者集会及び奨学金説明会の開催 ◎名桜大学教授による「総合的な探究の時間」成果発表に対する講評・助言	B	◆令和7年実施共通テストの情報収集及び動向の周知 ◆進路情報の保護者への周知	B(5)

No	努力目標(Plan)	状況(Do)※( )内は昨年度	R4 目標値	◎成果・▲課題(Check)	進捗状況	改善(Action)	関係者評価
2 生徒指導の充実	①委員会活動の活性化させ、高校生としてのマナー（携帯電話や交通ルール等）の向上を図る。	スマホ預かり指導22件(41件)	15件	◎定期的なマナー指導を実施 ◎生活委員会を中心に自転車点検、安全運転の呼びかけを実施 ▲自転車の危険運転に対する取組	B	◆自転車の逆走やスマホ操作など危険運転に対する生徒主体の取組支援	B(4) C(1)
		自転車接触事故1件(4件)	0件				
	②手帳等の活用で生徒の自己管理能力を育成し、勤怠状況の改善と基本的生活習慣の確立を図る。	出席率97.3%(97.8%)	99%以上	◎教職員、SC、就学継続支援員等との連携により長期欠席者への丁寧な対応 ▲3年目となる感染症対策の悪影響として、勤怠面でのゆるみが表出	C	◆生徒会とともに「時刻を守る、時間を大切にする」態度の育成	B(2) C(3)
		SHR遅回数1105回(742回)	750以下				
	③部活動については、その意義と教育課程との関連に留意し、適切な活動・運営に努める。	部活動加入率67.3%(75.4%)	80%以上	▲部活動に関する活動方針の改定 ▲生徒の主体性の育成	B	◆生徒が主体となる部活動について、教職員の共通認識での支援の在り方 ◆部活動に係る活動方針の改定	A(2) B(3)
		九州/全国大会出場	全国大会出場	◎男女ソフトテニス部、郷土芸能部、陸上部、放送研究部、カラーガード部、空手部、アーチェリー同好会			
3 魅力ある教育活動	①学校全体として教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習効果を最大とするカリキュラム・マネジメントを推進する。	職員研修の実施7回(3回)	実施	▲教育課程委員会、学力向上対策委員会、キャリア教育委員会による協働体制の構築し、教科横断的な取組 ◎校内研究授業及び公開研究授業・授業研究会を通して、ICT活用や観点別評価についての研究及び授業改善	A	◆地域の人材等、教育資源の活用を通して社会に開かれた教育課程の実現 ◆生徒たちの主体性や深い学びを実現する教育課程の編成	A(5)
		授業改善推進事業の実施	研究報告				
	②学校評議員制度や学校評価を活用したPDCAサイクルを機能させ、学校経営及び教育活動の改善を図る。	評議員会年3回の実施	実施	▲学校評議員会における意見及び評価を活かして、進路早期決定及び安全教育の取組	B	◆評価シートの活用と改善（関連性の見える化）及び学校評価の内容改善	A(2) B(3)
		授業観察及び学校アンケートの実施					
	③新高等学校学習指導要領の実施に向けた諸条件の整備を図る。	新学習指導要領に伴う教育課程の編成	編成	◎令和4年度入学生教育課程の課題解消及び令和5年度入学生教育課程編成	B	◆観点別学習状況の評価の改善	B(5)
		観点別学習状況の評価の改善	実施	▲観点別学習状況の評価について、校内研修の実施と科目毎の評価の見取り方			
4 教職員の資質・能力の向上	①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（『問い』を軸にした、学ぶ喜びのある授業）に取り組む。	授業改善推進事業の実施	実施	◎校内研究授業及び授業研究会の企画実施	B	◆深い学びに向けた取組推進	A(3) B(2)
		キャリア教育の推進	実施	◎探究活動の成果発表			
	②授業を大切に、基礎基本の定着と言語能力の育成に努め、成績不振者減と成績上位者増を図る。	成績不振者8名(35名)	15名以内	◎習熟度別展開授業を活かした基礎基本の定着	B	◆観点別学習状況の評価方法の改善 ◆個別最適化された学びの取組強化	A(2) B(3)
		成績上位者167名(159名)	240名以上	▲個々の生徒の状況を踏まえた学習支援			
	③校務に支障のない範囲で教職員研修と研究を奨励し、教育の実践「図南翼」を発刊する。	図南翼18集の発刊	発刊	◎一年間の教育研究をまとめ、図南翼を発刊	A	◆図南翼の内容及び教育活動への活用推進	A(5)
		授業改善推進事業に係る研究授業	実施	◎5教科5名の職員を中心に研究授業を実施			

No	努力目標(Plan)	状況(Do)※ ( )内は昨年度	R4目標値	◎成果・▲課題(Check)	進捗状況	改善(Action)	関係者評価
5 教育環境と学校事務	① 危機管理体制の点検と周知、定期的な教育環境の点検・整備を図る。	防災訓練及び教育環境の点検実施	実施	▲防災（津波・火災）訓練を通して、防災マニュアルの改善及び危機対応の点検など計画的な実施 ◎毎月1回定期に教育環境の点検・改善を実施	B	◆生徒の危険予測・危機回避能力の育成及び教職員の危機管理能力の向上 ◆防災マニュアル及び危機管理マニュアルの刷新	B(5)
		感染症対策の推進	実施	◎健康観察を通して、全生徒及び全職員の協力の下に感染症対策の実施			
	② 学校図書館の充実、学校施設・設備とICT環境の整備など教育環境の整備・充実を図る。	学校図書館の充実	整備	◎新刊図書購入数454冊、寄贈図書数436冊	A	◆ICT環境の更なる充実 ◆視聴覚教室における視聴覚機器の整備	
特別教室wi-fi環境整備等		整備	◎特別教室wi-fi環境整備や機器の導入などICT環境の整備				
③ 事務処理の迅速かつ的確化を図り、私費会計の適正化、学校勤務管理システムの適切な運用を推進する。	適正なシステム運用の更なる推進	適正運用	◎私費会計の適正な実施 ▲出勤の当日記録 ▲時間外長時間在校勤務者（昨年11名）	B	◆月80時間以上の時間外長時間 在校勤務者への産業医面談の完全実施	B(5)	
6 開かれた学校づくり	① 学校の教育情報を適切に発信し、PTA及び他団体との連携を深め、保護者・地域に信頼される学校をめざす。	地域懇談会・レク大会の実施 よりよい情報発信の企画検討	実施	◎地域懇談会を通して、学寮における教育環境改善 ◎保護者への情報提供の充実を図る「スクリレ」導入計画	A	◆電気料金等の値上げに伴う寮費の負担増について、他校の状況や根拠を示した丁寧な説明 ◆保護者情報提供方法の変更に伴う校内研修や保護者対応についての計画的な実施 ◆「不祥事ゼロ」継続への取組	A(4) B(1)
		八高P合同研修会の実施、先島振興会との連携	実施	◎合同研修会を通して「18歳成人」についての学習 ◎先島振興会の事務局として、先島県立学校の課題を共有し関係団体へ要望			
	② 盛岡第四高校との姉妹校交流事業を推進する。米国交流事業の実施について検討する。	交流会実施	実施	◎盛岡第四高とのカードの交換及びオンラインによる交流会の実施	B	◆通常の交流再開に向けた交流担当者及び管理者による次年度早々の調整	B(5)
通常的交流活動再開への取組		企画	▲次年度交流活動再開に向けた早期の日程調整				
③ 創立80周年記念事業(2023年度)に向けた準備を行う。	期成会及び各種委員会結成と記念事業の実施	実施	◎各種委員会の会議及び理事会開催を定期的に行い、計画した記念事業を実施	A	◆次期周年事業に向けての、資料等の整理及び保管	A(4) B(1)	

※ 学校関係者評価基準 A:達成できている B:概ね達成できている C:あまり達成できていない D:達成できていない

※ 進捗状況基準 A:順調（90%以上） B:概ね順調（75%以上～90%未満） C:やや遅れ（60%以上～75%未満） D:大幅遅れ（60%未満） E:未着手